

イベント
報告

第22回 視覚障害者 京都マラソン大会

～目の不自由な方のマラソン大会～

マラソン大会トップ

わかさ生活の想い

受賞者の紹介

参加ランナーインタビュー

応援メッセージ掲示板



- 開催日 2005年3月6日(日)
- 会場 西京極総合運動公園
- 時間 開会式 10:45～
※京都市少年合唱団による合唱演奏あり
- 競技スタート 11:40

ご報告

3月6日(日)に京都市西京極総合運動公園で第22回視覚障害者京都マラソン大会が開催されました。当日は心配していた天気も晴天に恵まれ、参加されたランナーさんから笑顔が絶えませんでした。

今大会は、アテネ・パラリンピックの金メダリスト高橋勇市選手の参加をはじめ、開会式では京都市少年合唱団に「若い力」「空よ、大地よ」の2曲を合唱いただき、立命館大学吹奏楽部のすばらしい演奏などたくさんの団体の参加で一層盛り上がりました。

レース内容は、3キロ男子弱視クラスで14年ぶりに大会記録が塗り替えられ、10キロ男子弱視クラスでは高橋選手の記録を上回る選手の登場など白熱したレースが続きました。そして大会開始から約4時間後、総勢125組の出場ランナーさん全員が無事ゴールされました。良い成績を残された方、完走できた方、皆さんの記録にも記憶にも残る大会になったのではないのでしょうか。

大会終了後、あるランナーさんから「今年は、今までにない応援の多さに大変励みになりました。」とお礼をいただいたほか、たくさんのランナーさんにお礼のお言葉をいただきました。

わかさ生活は目でお困りの方をサポートする企業として、その言葉がたとえ1人からでもいただける限り、商品をご愛用いただいているたくさんのお客様と共に来年、再来年とランナーさんをサポートしていきたいと思えます。

又、皆さんの声援はランナーさんの励ましとなり、活力となります。これからも今年同様大きな声援を届けていきましょう。

皆様のご声援、ありがとうございました。



京都市少年合唱団の紹介ページはこちら→

<http://www.kcjoc.jp>



わかさ生活の想い

わかさ生活は「視覚障害者京都マラソン大会」を大会実行委員会とともに主催という立場で応援することになりました。きっかけは大会の存続が危ういと聞いたことからでした。大会を楽しみに日々頑張っておられる選手が、毎年増え続けているのにスポンサーが見つからない。このままでは「皆さんが楽しみにしている貴重な大会を奪いとってしまう」「少しでも参加選手の方々に協力したい」という思いから主催での参加となりました。

私たちわかさ生活は、目でお困りの方をサポートする企業です。商品をお届けするだけでなく、目でお困りの方にもっと何か出来ることはないかと、このような支援活動をしております。

決して背伸びするのではなく、出来ることから始め、それを継続していくことが大切であると考え今後支援を続けていきます。



大会では早くゴールした方を表彰していますが、どのランナーさんも頑張って完走されました。そこで今回より「わかさ賞」を立ちあげ、特に頑張った皆さんを表彰しました。



この4名の方は沖縄からの参加です！！

立津 末子 様(たてつ すえこ)	10km女子弱視に参加
渡久地 文哲 様(とくち ぶんてつ)	10km男子全盲に参加
佐久川 正男 様(さくがわ まさお)	10km男子全盲に参加
磯崎 学 様(いそざき まなぶ)	3km男子弱視に参加



12歳の子供達の参加です！！

上田 桂太郎 様(うえだ けいたろう)	3km男子弱視に参加
石山 友里加 様(いしやま ゆりか)	3km女子弱視に参加
高橋 信仁 様(たかはし のぶひと)	3km男子全盲に参加
小野 悠 様(おの ゆう)	1km男子弱視に参加



72歳での出場です！！

竹村 忠夫 様(たけむら ただお)	1km男子弱視に参加
-------------------	------------



今年を含めて22回すべての大会に参加されているランナーさん達です！！

文堂 直治様(ぶんどう なおはる)	10km男子全盲に参加
道家 惇三様(どうけ じゅんぞう)	3km男子弱視に参加
今里 忠幸様(いまざと ただゆき)	1km男子全盲に参加



盲導犬パズと一緒に走られたランナーさんです！！

前田 眞里様(まえだ まり)	3km女子全盲に参加
----------------	------------

京都マラソン大会

～目の不自由な方のマラソン大会～

マラソン大会トップ

わかさ生活の想い

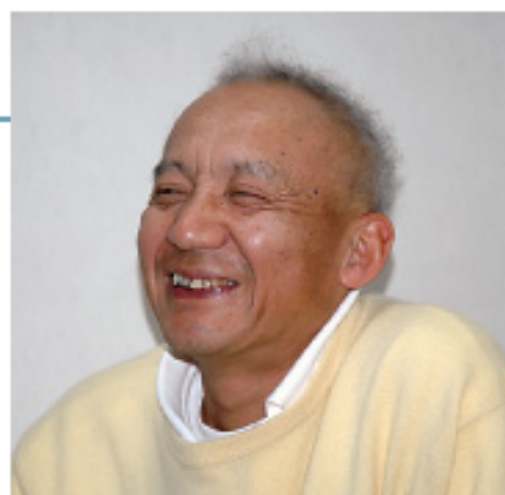
受賞者の紹介

参加ランナーインタビュー

応援メッセージ掲示板

竹中 良一さん (54歳・京都市出身)

37歳で網膜色素変性症により視力に障害を持つ。その後盲学校に在学中、治療の一環としてジョギングを開始し、以後京都シティハーフマラソンなど各種マラソン大会に参加。



鈴木 政子さん (63歳・京丹後市在住)

先天性白内障治療の為、薬を飲用し眼圧が低下。20歳の頃より視力に障害を持つ。しかし、そこから盲学校へ通い、あん摩の資格を取り卒業。卒業後は資格を活かし仕事につく。

結婚後、娘の美智子さんが小学6年生になったと同時にマラソンを始める。現在は、数々のマラソン大会に入賞し、海外の大会にも参加している。

Q. 今回のマラソン大会に参加してどうでしたか？

A. 去年に比べ沿道での応援やギャラリーの方が増えたので早く走れるようになりました。
それに、今回は例年に比べ真剣に走ったように思います。

Q. 今年は、より真剣になったということですが、去年に比べて何が違ったのでしょうか？

A. 別に今年だけではないんだけど、自分のライバルになる相手がいたから、真剣に走れました。

Q. 伴走者の方はどうでしたか？

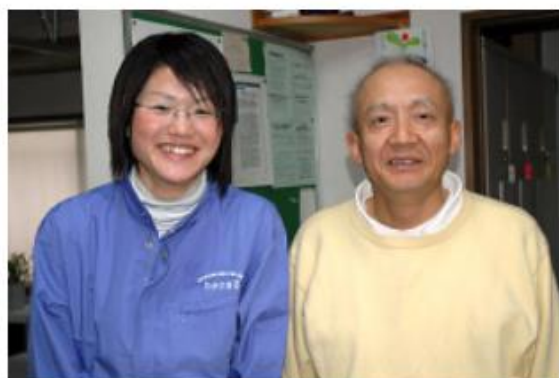
A. 実は、去年と同じ方が伴走してくれたんですよ。
別に、こちらが指名した訳ではないんですけどね。僕は、この視覚障害者京都マラソン大会はランナーの人にとっても登竜門だと思うし、伴走者の方にとっても登竜門だと思っているんです。だから、自ら参加したいという伴走者の方と走るようにしています。

Q. 来年もマラソン大会に参加したいですか？

A. 来年も是非参加したいです。

Q. 最後に一言お願いします！！

A. 一番困るのは、練習の時です。
大会だといろいろとお手伝いして頂けますが、その大会で良い記録を出そうとすれば練習をしなければなりません。
伴走は、難しいものではありませんので気楽に練習相手になっていただければ幸いです。
練習すれば誰でも早くなりますので、ご協力のほど宜しくお願いします。



インタビュー中、終始笑顔でお話をされていた竹中さん。
来年もランナーさん達の笑顔のために、これからもわかさ生活は皆様の健康を応援していく企業であり続けます。

インタビュー:わかさ生活
平井亜衣子

Q. 今回のマラソン大会に参加されていていかがでしたか？

A. とても楽しかったです。
皆さんの応援があってマイペースに楽しく走れましたね。

Q. ところで、鈴木さんは視覚障害者京都マラソン大会にどのくらい参加されているんですか？

A. 今回で21回参加させていただいています。私が、マラソンをするきっかけになった大会なんですよ、この視覚障害者京都マラソン大会は！！ずっと参加させてもらっていますが、参加当初は記録を出すことに必死だったんです。でも今は長い目を持って80歳ぐらいまでマラソンに参加出来るように「楽しめるマラソン」をしていますよ。また、私はマラソンをするようになって自分自身が輝けるようになったように思います。今は世界中で私が一番幸せじゃないのかな～



Q. とても仲良く伴走者の方と走られていましたね。伴走者は今回娘さんの美智子さんとお聞きしましたが、いつから美智子さんが伴走するようになったんですか？

A. えーと、あれは視覚障害者マラソン大会の第12回大会からです。美智子は小学校の卒業後から中学入学の春休みからマラソンの練習を始めたんです。今や、美智子は私のマラソンのなくてはならない存在ですよ。やはり、親子の絆は強いですね。

Q. 走る姿を見ているだけで私達にも、「マラソンが楽しい」という気持ちが伝わってきました。

では、21回の参加になる視覚障害者マラソン京都大会ですが、前年度の大会に比べてどうでしたか？また、次回の大会にも参加したいですか？

A. 今までの大会に比べて応援がすごかったですね。特にわかさ生活の方の応援はどの応援者の方よりも大きな声で本当に嬉しかったです。社員の方の一生懸命さが私をはじめ、全てのランナー・伴走者に伝わったと思います。是非、次の大会も参加したいです！！来年もわかさ生活の皆さんでマラソン大会を盛り上げていってください！！

インタビューの間、ずっと笑顔だった政子さんと美智子さん。インタビューしている私たちも鈴木さん親子から元気そして生きる素晴らしさを再確認出来たように思います。この笑顔を来年も見られるように私たちは視覚障害者の皆さんを応援していきます。



左から
わかさ生活 秋田
鈴木政子さん
鈴木美智子さん
わかさ生活 平井

たくさんの応援メッセージありがとう！

たくさんのメッセージをお寄せいただきありがとうございました。
お寄せいただいたメッセージは、全てランナーの皆様にお渡し
いたしました。

本当にありがとうございました。

※メッセージの受付は終了いたしました。

